

診ます会

トピックス

- ・ 済生館の乳癌治療
- ・ 診ます会事業計画
- ・ がん研究会活動状況報告
- ・ 診ます会講演会等のお知らせ 他



済生館の乳癌治療

外科長 守本和弘



日本では毎年3万人の乳癌が新たに発生しています。当院での乳癌手術症例数は年間40件前後ですが、発生率の増加に伴い症例数は今後ふえるものと思われます。乳癌医療の中で画像診断の進歩は著しく、マンモグラフィー、超音波、MRIによる非触知乳癌の診断は早期発見に寄与するものであります。確定診断の為の病理診断においても、細針穿刺吸引細胞診のほかに、太針組織診(core needle biopsy)の登場は外科的生検に比べ、低侵襲という点から、すぐれた手法です。当院であらたに導入したマンモグラフィー(次ページの写真参照)を用い、立体的な太針組織診を行うことで、確実な診断ができた症例が増加しております。

現在、乳癌の手術は温存手術が4割を占めるようになり、また『乳癌は全身疾患』という考え方が一般的になっています。手術、薬物療法、放射線治療からなる、集学的治療の中でも、薬物療法がかなりのウエイトを占めるようになってきています。医療者独自の治療法はEBMに基づいたものでなければ許されない時代となりました。治療法の進歩も急速で、最先端のものがよいとは言えないまでも、その方向性は常に注目していなければなりません。拡大乳房切断術から胸筋温存乳房切断術へ移ったように、乳房温存手術から非手術と言う可能性がないわけではありません。そのひとつが早期乳癌に対する術前化学療法です。進行乳癌に対しては以前から行ってきた治療法ですが、これは切除不能を切除可能にすることを目的としていました。(次ページへ続く)

平成16年度 診ます会事業計画

平成16年5月28日、診ます会総会にて下記のとおり承認されました。多くの先生方にご参会いただき大変ありがとうございました。

1) 病診連携の質的な充実を目指す

糖尿病をモデルに、作業部会を設け診療所等の先生に参加していただき、研修会の開催及び検査、治療のガイドラインを作成する。

済生館は糖尿病療養士の育成を図る。

糖尿病教室を診ます会会員及び看護師、患者へ開放する。

将来的には喘息、SAS、悪性疾患、肝疾患などへの拡大をする。

薬薬連携、看看連携を推進する。

2) 在宅医療への支援

病院、診療所の情報開示。

在宅医療の環境整備。

・救急体制の整備(済生館) ・休診時登録制度の活用 ・開放型病床の活用

介護センター職員との研修会。

3) 診ます会講演会及び研修会の充実

診ます会会員の講演会の実現。

4) 病床及び機器の共同利用の促進(済生館から診療所の先生方へのお願い)

登録医の拡大

機器、開放病床の利用を推進できる病院内体制の再検討。

一方、早期乳癌の術前化学療法は、温存手術の可能性をさらに高めていることから、症例によっては非手術が現実となるかもしれません。再発予防、微小転移治療を目的とした術後化学療法を、早期乳癌にも行うことが多くなっていますが、済生館では、術前化学療法にも注目していきたいと思います。6月に乳癌学会から、薬物治療のガイドラインが示されました。EBMに基づいた標準治療法が提示されたことは、患者様、医療者の両者にとって福音になることと思われまます。

当院では病理医を含めた、乳腺症例検討会を月に2回行い、常にレベルアップを心がけております。乳腺疾患が疑われる患者様の紹介を、診ます会の先生方をお願い申し上げます。



済生館のマモグラフィー

▶ **がん研究会(済生館主催)活動状況報告**

済生館ではがん治療研究会を組織し、2年目になります。院内がん治療の集学化とがん治療のレベルアップ、地域の先生方との共同治療を目標に講演会、治療方針の検討などを行っております。主に国立がんセンター中央病院の先生方の協力を仰いでおります。当初は国立がんセンター中央病院の土屋了介副院長、ついで、肺内科の山本 昇先生においでいただきました。今回は同病院で永く活躍された渡辺 亨先生(国際医療福祉大学臨床医学研究センター教授山王メディカルプラザ オンコロジーセンター長)に「外来化学療法のポイント」と題して講演をお願いしました。

日本人死亡原因では 悪性新生物 29万5484人 30.7% 心疾患 14万6741人 15.3%

脳血管疾患 13万2529人 13.8%と全人口では死因の30%が癌なのですが、0-39歳では14.6%、40-69歳では44.6%、70歳以上では26.1%と働き盛りの死亡のうち、ほぼ半数ががんによる死亡であるとのことでした。このような状況や最近の治療の進歩により、長期入院継続してのがん治療ではなく、自宅での生活を基盤にし、外来で抗癌剤の投与を受ける人々が増えている状況です。これには 1.有効性の高い薬剤が使えるようになってきた。 2.化学療法の重要性、必要性が認識されてきた。 3.短時間で投与できる薬剤が増えてきた。 4.副作用対策が進歩した。 5.QOLを重視する考え方が普及してきた。 6.入院が安全ということもないという認識の普及。 7.病院のあり方が変わってきた。 8.仕事をしながら治療をする患者の増加。 9.総医療費抑制策。 10.病院 - 診療所連携推進なども背景として作用しています。

患者さんには安心して化学療法を受けるための12ヶ条として

第1条 病気を理解する 第2条 治療を理解する 第3条 副作用を理解する

第4条 副作用の対処方法を知る 第5条 健康食品、代替医療におぼれない

第6条 普通の生活を送る 第7条 なんでもがんと結び付けない 第8条 先々のことは考えない

第10条 いい友達と付き合い、家族を大切にす 第11条 仕方ないこと、済んだことにこだわらない

第12条 納得するまで聞いてみよう

済生館がん治療研究会では今後も診ます会の先生がたのために、全国レベルのがん治療を行うために講演会や症例検討等を重ねてまいりたいと存じます。ご希望のテーマがありましたらお知らせください。

(地域医療連携室、呼吸器科 岩淵 勝好)

▶ **新任医師のご紹介**

平成16年7月から新たに済生館に赴任した医師を紹介いたします。

ご指導、ご鞭撻の程宜しく願いいたします。

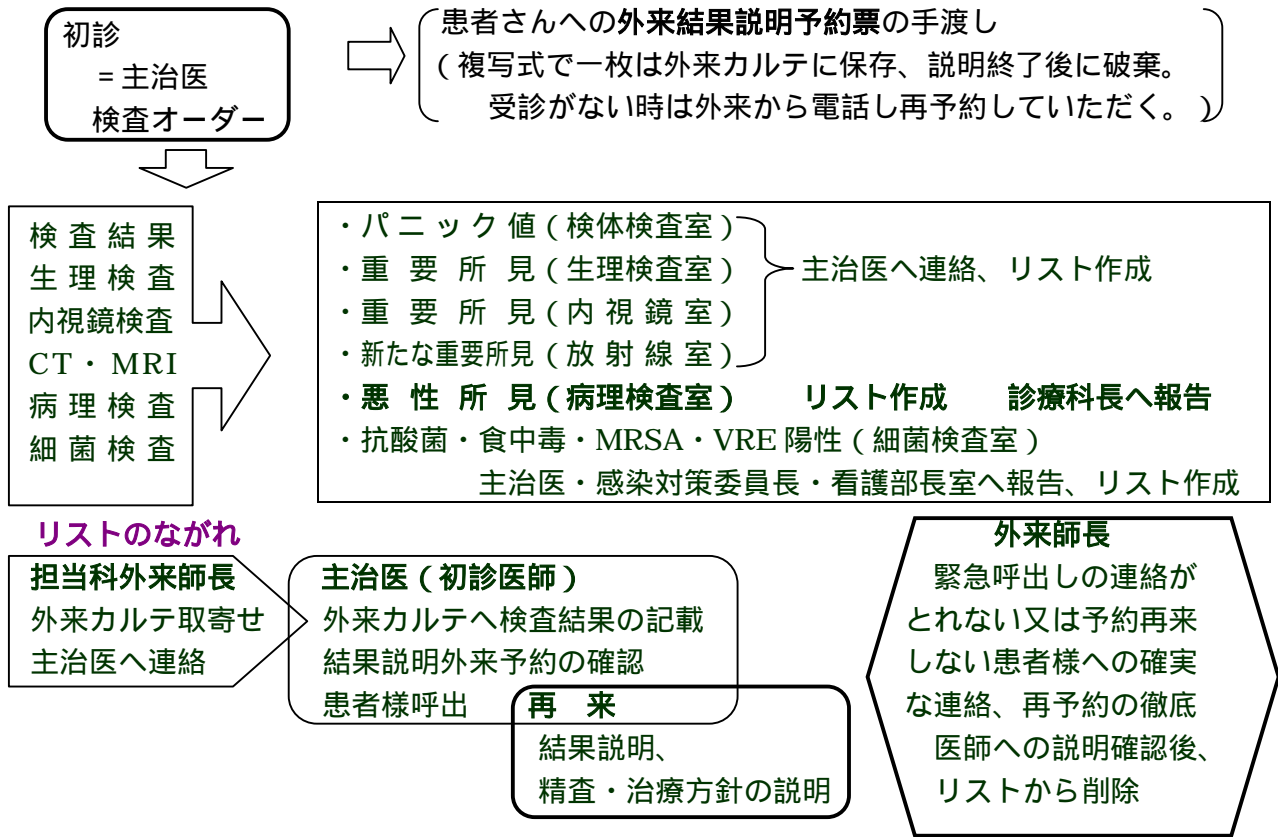
◆ **梶沼 陽(泌尿器科)**



7月から済生館の泌尿器科に赴任いたしました、平成9年、山形大学卒の梶沼 陽 です。卒後山形大学病院に3ヶ月、その後7年は県内の関連病院を転々とし一般泌尿器科をやってきました。済生館は尿路結石の症例が豊富で、その診断、治療には定評があります。尿路結石で御紹介して下さる患者様に対し安全かつ迅速に治療が行えるよう努力いたします。宜しくお願いいたします。

▶ 済生館の安全管理のお知らせ

済生館では外来検査結果の説明漏れや見落としを防ぐために、ダブルチェックシステムを開始しました。



▶ CTの当日検査を始めました

当院では7月20日(火)からCTの当日検査をさせて頂いております。急を要し検査が必要な患者様にお役立っていただければ幸いです。

なお、当日検査の際は次のことをご留意お願いいたします。

1. 手続きについて

手続きについては従来と同様です。地域医療連携室にお電話でお申し込まいただき、FAXで患者様情報等を送信していただきます。

2. 当日予約の受付時間 午前8時30分～午後2時30分頃迄

(ただし、午後3時迄来院できる方に限ります。また、機械点検などでお引き受けできない場合がございますので、あしからず御了承願います。)

3. 患者様へのお願い

造影CTの場合は朝から食事を摂らないでご来院くださるよう患者様にお話してください。

4. ご報告について

郵送にてできるだけ早急にご報告いたします。

講演会，症例検討会等のお知らせ

平成 16 年度第 2 回 診ます会講演会

日 時；平成 16 年 9 月 17 日（金） 午後 6 時 50 分～
場 所；山形市立病院済生館 4 階大会議室
講演内容；非触知乳癌診断における超音波検査の要点
講師 たけべ乳腺クリニック 武部 晃司 院長
対象者；医 師 主 催 者；診ます会，中外製薬株式会社
そ の 他；県医師会から生涯教育（3 単位）に認定されています。

平成 16 年度第 3 回 診ます会講演会

日 時；平成 16 年 10 月 6 日（水） 午後 7 時～
場 所；山形市立病院済生館 4 階大会議室
講演内容；急性期から在宅医療に向けた口腔ケア
講師 県歯科医師会地域保健常任委員 斉藤純一 氏
対象者；医師、歯科医師、歯科衛生士等
主 催 者；村山保健所，診ます会
そ の 他；県医師会から生涯教育（3 単位）に認定されています。

第 93 回 内科系疾患症例検討会

日 時；平成 16 年 9 月 8 日（水） 午後 7 時～8 時 30 分
場 所；山形市立病院済生館 4 階中会議室
内 容；内科系疾患症例検討会
対象者；医 師 主 催 者 山形市立病院済生館
そ の 他；検討していただきたい症例がありましたらご一報ください。
県医師会から生涯教育（3 単位）に認定されています。

第 4 回 医療連携研修会

日 時 平成 16 年 9 月 10 日（金） 午後 5 時 30 分～
場 所 山形市立病院済生館 4 階大会議室
内 容 介護保険通所サービスについて
排泄管理（尿管ケア、留置ケア、ストマ）
対象者 居宅介護支援センターのケアマネージャー等
主 催 者 山形市健康福祉部介護保険課，山形市基幹型在宅介護支援センター
山形市立病院済生館
そ の 他 日程等変更になる場合があります。済生館 HP 等でご確認ください。

済生館への患者様のご紹介について

時間内のご紹介について（月～金 午前 8 時 30 分～午後 5 時迄、地域医療連携室）

ご紹介患者様のご予約、お問い合わせは下記の専用電話にお願いいたします。

Tel 023-626-6516

ご紹介患者様に関する情報の詳細は下記の Fax へご提供お願いいたします。

Fax 023-626-6517

時間外は救急室にお願い致します（上記以外の時間、救急室）

時間外や救急などに患者様をご紹介していただくときは、下記にお願いいたします。

Tel 023-634-7119 Fax 023-634-7180